

関電会長「06年から」

金品授受会見と違い 再調査へ

象範囲を広げて再調査する方針を固めまし

た。経済産業省が電気事業法に基づき、類似

事案の有無などの報告を求めたことに対応するとともに、岩根社長が近く記者会見で改めて説明します。

関電は昨年、社外弁護士を含めた委員会で調査を実施したものの、調査結果を発表していませんでした。

関西電力幹部が福井県高浜町の森山栄治元助役（故人）から多額の金品を受け取っていた「原発マネー」還流疑惑で、関電の八木誠会長は28日夜、自ら金品を受け取った時期について「原子力担当役員だった2006年から10年」と明らかにしました。

年2月から18年2月にかけて計約3億2000万円の金品を受け取ったと発表。それ以前から森山氏との密接な関係が続いていたことになりま。八木会長は、原子力事業を統括する本部長などを歴任しています。

これを踏まえ、関電は中心となった原子力事業本部以外の各部門についても同様の金品授受がなかったか、対

関電は27日の会見で、八木会長、岩根茂樹社長ら幹部20人が11